



拓(ひらく)

第130号 2023・6・1

関西合同労働組合
教 宣 部

〒653-0021

神戸市長田区梅ヶ香町2-5-2

電話 078-652-8847

FAX 078-652-8848

ホームページ: <http://www.kansaigodo.org/>

Eメール: hyogounion@k8.dion.ne.jp

第30回定期大会に結集しよう！

組合員のみなさん、闘う仲間みなさん
関西合同労働組合は来る2023年7月23日西宮市立勤労会館において第30回定期大会を開催します。

「新たな戦前」と闘おう！

昨年2月14日のロシアによるウクライナ侵攻から1年5ヶ月が経過し停戦の気配すら見えない中、5月にはG7広島サミットが開催されました。核廃絶への道筋を示すことが被爆地ヒロシマで開催する意義だったはずで、ところが5月19日に公表された「核軍縮に関するG7首脳広島ビジョン」は自国の核兵器は肯定し、対立する国の核兵器を非難するばかりの内容でした。「広島を政治利用しただけ」「広島で見て、聞いてもこ

の結果ならば、今後何を訴えればいいのか」また、ウクライナ停戦に向けた何の道筋をも示されなかったことに「広島サミットは開催しない方が良かった」と被爆者から怒りと失望の声が上がっています。

難民認定申請3回目以降の人の強制送還を可能にする条文を含む入管法改悪案が参議院で審議中です(5月27日現在)。これに反対するデモが各地で闘われています。ウクライナ戦争による物価高騰は一向に収まっておらず、実質賃金の低下は続いています。

30回定期大会はこの「新たな戦前」とも言える状況の中開催される重要な大会です。全ての組合員、サポート組合員の大会参加を強く訴えます。

23春闘総括



23・05・22神戸で行われた入管法改悪反対デモ

23春闘で関西合同労働組合は、兵庫支部で神戸ヤマト、摂津の2分会と兵庫労働局。大阪支部でポスコの1分会で春闘要求を提出して賃上げ闘争を闘いました。この他、大阪支部大豊運輸倉庫分会で「特別給」支給差別に対して裁判闘争が闘われています。まだ未解決の分会もありますが、神戸ヤマトで

定期昇給、評価昇給合わせて平均4764円の賃金引き上げと、夏季一時金平均24.4万円の回答（格差是正は未達成）、摂津では賃上げは僅か400円でしたが、インフレ手当について「夏季一時金に反映されると思う」との発言を引き出しました。夏季一時金交渉においてインフレ手当を支給させる闘いを強めなければなりません。

今春闘でもう一つの目標であった組織拡大は、労働相談テント、電話相談などでいくつかの労働相談を受けましたが、組織拡大には未だつながっていないのが現状です。しかし、手応えを感じました。この取り組みを継続し組織拡大を何としても実現しなければなりません。

おおさかユニオンネットワーク 春季総行動



藤原運送前

3月24日に行われた、おおさかユニオンネットワーク春季総行動に関西合同労働組合から3名で参加しました。

総勢約100名の参



3・24春季総行動ホームテック前

加で不当労働行為を居直り、府労委命令を守ろうとしない三つの企業、ホームテック（大阪市北区・天六ユニオン）、藤原運送（大阪市西区・連帯労組関生支部）、山紀会本部（大阪市西成区・ケアワーカーズユニオン）に対し抗議集会とシュプレヒコールと申し入れを行いました。

大阪市役所前では介護関係の申し入れ、韓国からのゲストの発言などがあり、大阪府教委前で大阪教育合同が講師雇用継続の申し入れと座り込み闘争を行いました。

（執行委員長 佐々木伸良）

第30回定期大会開催要項

日時 2023年7月23日（日）

午後1時30分～4時30分

会場 西宮市立勤労会館・第8会議室

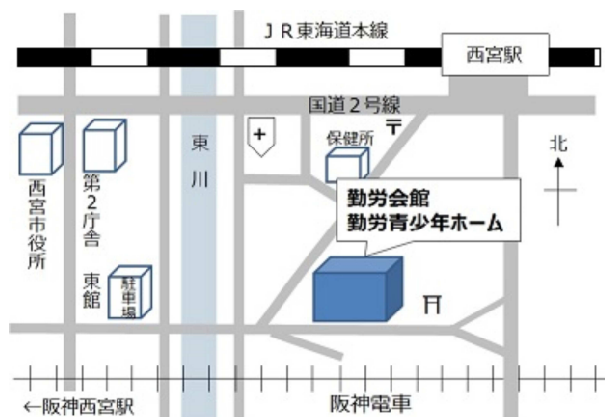
（JR西宮駅・南口を出て南へ徒歩5分）

内容 議案の提起と討論

役員選挙

記念講演（講師未定）

沖縄・宮古島報告



職場からの通信

大阪支部・大豊運輸倉庫分会



2016年春闘要求行動大豊運輸倉庫前

特別給不支給差別の第3回公判が4月28日が行われた。争点がはっきりしてきた。

①会長通知で業績反映として数年（6回）一時金とは別に全員に支給したにも関わらず「償却」労働者には支給してなかった事実。

②会社は団交で組合の追及に対し、これをごまかすために特別手当、特別手当②などを賃金項目に勝手に作りごまかそうとしている。

このことについて本格的に争うことになる。尋問がひらかれるかどうかはまだはっきりしないが佳境に入りつつある。尋問が開かれるなら傍聴をよびかけます。

次回公判6月16日11時から。

兵庫支部 レモンジャパン分会

レモンジャパンは、インフレ手当と年末一時金10万円（契約社員も）支給の実現直後、新契約書（更改）に就労場所が自宅であるにも関わらず、「（滋賀）工場」（単に「紐づけしただけ」と会社）に〇がついており、拒否していました。会社は執拗に契約書に押印迫ってきましたが、会社もミスがあり、当該組合員が10回近く会社とやり取りした結果、ついに会社が折れて来ました。10年前の20%賃下げについて、会社側弁護士は「押印」理由に「合法」と強弁した記憶が強烈にあったが、粘り勝ちでした。

滋賀支部・労働相談テント

5月14日、関西合同労組滋賀支部は、琵琶湖ユニオン、連帯ユニオンゼネラル支部、きょうとユニオンとの4者共催で、近江八幡駅南口イオン前で、11時から15時まで労働相談会をおこなった。事前に中日新聞と京都新聞が載せてくれ、ビラもポスティングの1100枚を含め1500枚を配布した。当日は雨で、直接の労働相談はなかったが、京都で働いている若者が、実家は八日市で近江八幡で友人と待ち合わせていると言ってテントに来ていろいろ話をしていた。参加者は、琵琶湖ユニオンの



稲森書記長、連帯ユニオンゼネラル支部はW組合員と杉原副委員長、きょうとユニオンはT組合員とサポート会員のNさん、関西合同労組はY組合員、M組合員、塚本執行委員の8人が参加して、他にも後の狭山の街宣行動に参加するSさんやサポート会員のYさんも訪ねて来て、今回もいろいろと交流を深めた。次回は7月9日草津。

第94回中之島メーデーに参加して

5月1日第94回中之島メーデーに参加した。主催者は、①ウクライナ戦争が世界の民衆に多大な影響を与えていること、ロシア・ウクライナどちらが悪いでなく殺戮以外のなにものでもないこと②権力者が労働組合法の概念を思うがままに歪めている危険性について③全ての労働組合が大きいうねりとなって、メーデーなど一つ一つのテーマを企画し違いを認め合って一步步前進していく必要性を訴えた。



シーサーネットはこの間の政治反動について、大阪労働者弁護団はメーデーの原点について、各政党議員は、労働者の立場・労働運動との連携の大切さについて、(ア)

(ア) 「月桃の花」歌舞団は舞踊と太鼓の披露、争議を闘う仲間からは、全東リなかもユニオンが5名がの正社員労働者として職場復帰を果たしたこと、郵政ユニオンは非正規均等待遇の闘いについて、ケアワーカーズ山紀会、関生支部高槻生コン、藤原生コンから職場破壊との激しい闘い、関西合同労組から「反社規定」問題で労働法を守る協定を結んだ、などの報告があった。集会後の東梅田までのデモ後、80名近い参加の交流会では、職場で激しく闘う若い仲間の発言にやんやの喝さいがあがった。戦争と生活破壊の流れに抗する労働運動の大切さを実感する闘いであった。組合の仲間は半数が夕方の尼崎メーデーに合流した。

5・14東リ偽装請負争議・勝利報告集会

5月14日大阪・PLP会館にて「東リ偽装請負争議・勝利報告集会」が開催されました。なかもユニオン井手窪委員長、弁護団らの挨拶の後、西山代表の乾杯の音頭で集会は始まりました。5名の当該組合員を代表して藤澤委員長は、裁判闘争に勝利し、職場復帰を実現したことへの支援のお礼と「職場復帰したが、重労働の部署に配属され5人中3人が腰痛症を発症した。職場改善の闘いはこれからだ。」と力強く語りました。



第33回京都地域メーデー開催！

第33回京都地域メーデーが、5月1日円山野外音楽堂でおこなわれ、105人が参加した。きょうとユニオンの笠井委員長の司会で始まり、連帯アピールは、憲法9条きょうとの会、れいわ新選組、新社会党京都府本部からあった。

連帯メッセージは韓国の平等労働者会、日比谷メーデー実行委、大阪・中之島メーデー実行委からあり、それぞれ読み上げられた。労働組合つ



ブロックの平田さんから、弾圧を粉碎して

最後まで闘い抜く決意が述べられた。そのあと実行委参加団体からリレーアピールがあり、米軍Xバンドレー基地反対京都連絡会や反戦共同きょうと、関西合同労組、きょうとユニオン等多くの団体が発言した。

メーデー宣言を採決して団結頑張ろうのあと、四条河原町を通過して市役所前までデモ行進をおこなった。

写真は挨拶するきょうとユニオンの笠井委員長（上）と、デモに出るところ（左）。（塚本執行委員）



ぶし弾圧に反撃を！ということでは反弹圧京滋実行委の奥坂さんと関西生コン支部京津

鉄道ファンレポート



近鉄観光特急『青の交響曲（シンフォニー）』

大阪あべの橋～吉野間を2015年から運行を開始しました。この特急車両は通勤車両からの改造ですが、車内は観光電車にふさわしいものになっています。3両編成ですが、2両目はフリースペースとなっていて、スイーツや沿線の土産物等

販売しています。大阪阿部野橋10：10 14：10発
吉野 12：34 16：04発です（桜の時期臨時ダイヤ）。料金は、特急券の他、特別車両券が必要です。但し、当日（土日祝）は満席になるので、事前予約で取った方が良いでしょう。（投稿 Y.T）



MAYDAYあまがさき2023

◇5/1あまがさきメーデー（尼崎地区労など主催）に共闘関係にある関西合同労働組合の支援者として参加してきました。例年の尼崎地区労の発言者に加え、職場が尼崎にある全日建関西生コン支部や、大阪労働弁護団が発言し、組合脱退強要に屈せず闘いぬいていることや、「ハラスメント、雇い止め」などに対する「働く人のオンライン学習会」を提起しました。



◇メーデー宣言」では、「ロシアの侵略以降ウクライナ軍12万人、ロシア軍20万人の死傷者、市民も戦渦に巻き込まれていること。ロシアの力による現状変更は決して認めることはできないが、戦争は最大の人権侵害であり、両国に対して直ちに停戦するよう呼びかける。日本政府は危機をあおり国是である「専守防衛」からの大転換を閣議決定した。重大な憲法違反だ。バブル崩壊から続くデフレ下で30年間も賃金が上がらず、さらに金利差によって円安が進んだ。アベノミクスの失敗は家計を直撃した。にもかかわらず岸田首相は防衛費を43兆円にし、その財源は増税である。4月の統一地

方選の結果は自民党の現職が相次いで落選し女性や若者と入れ替わった。社会は変えられるのだ。

1886年5月1日アメリカ・シカゴで始まった全世界の労働者の闘いは、いまでもストライキやデモで社会を動かしている。世界の労働者と連帯し、平和と民主主義、働く者の権利確立に向けて、全力で闘うことを決意する」と決意と団結を固めるものでした。関西合同労働組合は支援を含め7人で参加しました。全体では50人くらいだったと思います。



◇精神障害者も世の中を変えるために、労働者・労働組合ともどんどん協力・共闘していきたいと思います。

（投稿 高見元博）



4・25辺野古・大浦湾海上アピール行動に参加して

「新基地建設止める」 護岸着工6年市民、海場で抗議

ト船) 22隻が警戒し、防衛省は船の上から警告を発していた。

海上集会では、ヘリ基地反対協議会、オール沖縄会議からそれぞれ戦争に反対する決意、民主主義、民意を取り戻すなどのアピールがあった。また、地元や全国の仲間から

「美ら海を守れ」「戦争はしてはならない」とそれぞれ自らの思いが述べられた。そして、シュプレヒコールをくり返して抗議の意志を示した。

海上アピール行動に



4月25日、午前9時30分名護市瀬嵩(せだけ)の浜からカヌー36艇が工事現場「K9」に向かって漕ぎ出した。また、沖で待機していた「平和丸」などの抗議船7隻と合流し進んだ。カヌー隊は、立ち入り禁止区域に並べられたフロート、杭にバンダナをくぐりつけ横断幕、パネルをもって抗議した。

横断幕には「辺野古基地No War」、「サンゴを守れ」パネルには「沖縄の未来は沖縄が決める」「新基地反対」などと書かれている。

海上保安庁は、フロー内にGB(警備ボー

は、65名ぐらいが参加し、午前中、工事がストップしたことを全員で確認して2時間余りの行動は終わった。また、シュワブゲート前では座り込み行動も行われ、大阪から訪れた三浦俊一さんは「県外でも広く、沖縄の現状を伝えなければ」と話した。

事前にカヌー訓練

私たちは、この日の行動に向って22日午後の飛行機で沖縄に行き、23日の日曜日にカヌー教室に参加した。

日曜日は波が荒れ転覆・復帰訓練はでき

なかった。再度24日の月曜日の午前に転覆・復帰訓練をおこなった。そのうえで、午後からの大浦湾で抗議行動、25日に向けての準備をした。大浦湾に抗議船で向かったが外洋はうねり、風が強かった。カヌーで漕いでいるとウミガメを見た。

(8ページ下段に続く)



連帯労組関生支部弾圧との新たな闘い

5・9大阪広域生コン協組の労組潰しを許さない！ 昼休み抗議行動始まる

大阪広域生コン協組の労組潰しを許さない！第一回デモ行進が5月9日行われた。

これは3・2大津コンプラ事件有罪判決・3・6和歌山事件完全逆転勝利の情勢の中で法的にも追い詰められた広域協が所属企業に

「関生は有罪・反社会集団となった」「関生組合員の雇用を認めない」と通知をだし、いくつかの企業が組合員の「出勤停止・自宅待機」の命令を出したことに對する反撃の闘いとして開始した。当面毎週火曜日取



「組まれる。デモ行進は、大阪市中中央区・東横堀川公園を出発し、瓦町の大阪広域生コン協組が入居するビルの前を通るコース。旗や幟がはためき、「大阪広域生コン協組の労働組合潰しを許さない！」などのシュプレヒコールのデモ隊は注目を浴びた。

大阪広域生コン協組のメンバーがスマホ・ビデオで撮影する様子が見られた。解散地点では、「団結ガンバロー」をデモ行進を締めくくりました。



(7ページからの続き) この豊かな海を守らねばと思いを新たにした。

牛歩による抗議に弾圧

本部港塩川地区では、大型車、ダンプの前をゆっくり歩く「牛歩」抗議行動が取り

組まれている。沖縄県は、2月17日に「港湾施設の機能を妨げる行為」を禁止する県港湾管理条例に該当するとして、警告の看板を設置した。

市民団体は、4月24日沖縄県庁において1階ロビーで市民80名が集会を開いて面談した。県側は、看板を撤去するとの回答を引き出し一歩前進した。

今回の行動に参加して、沖縄現地の闘いと本土における闘いが交流し、連動していくことが重要だと強く思いました。そして、二度と戦争をくりかえしてはならない。

(高崎庄二)

5・3「9条改憲を許さない！滋賀県民集会」

5月3日、表題の集会が滋賀県解放県民センターであり、220名が参加した。

白井聡さんの講演

集会では、京都精華大学教員の白井聡さんが、「なぜ日本政府は米国に従属し続けるのか」～今を戦前にしないために～と題して講演され、約2時間話し続けられた。白井さんはまず、自身の著書である、「永続敗戦論」と「長期腐敗体制」を紹介され、その内容を説明された。戦後の核心は敗戦の否認であり、現実の否定であり、後悔も反省もしていない。そして2012年体制は誰がやっても同じ、米国への卑屈な従属である。

本当に戦前と思える状況になってきていることについては、敵基地攻撃能力とは先制攻撃であり、ミサイル防衛システムでは防衛できないから踏み切ろうとしている、そのミサイル情報は米国の情報でしかわからない、その米国は平気で事実の捏造をする。日米安保の密約で有事では自衛隊は米軍の指揮下に入る。

日本はトマホーク、グローバルホーク、イージスアショア等必要のないものを買わされて、実際に戦争が起きれば自衛隊の弾薬は一週間も持たない。大增税は不可避である。

台湾有事について、台湾では国民党と民進党の対立はあるが戦争を避けることでは一致している。中国は内政問題であり、独立は認めない。米国は中国と覇権争いをしている。米国にとっても経済危機であり台湾有事はあり得ないが、歴史は第一次大戦も、太平洋戦争も起きるはずのないことが起きた。米国は自分の手を汚さずに日本を動か

そうとしている。日本は戦争で負けたことをごまかし、従属もごまかそうとしている。仲良し、と言い、思いやり予算、トモダチ作戦と言っている。米国は常に米国ファーストであった。戦後の国体は菊と星条旗の結合で、世界に類を見ない卑屈な対米従属である。しかし日本の国民は戦前は天皇のために命を懸けたが、米国のために命を懸けられるだろうか。

2022年9月のノルドストリーム破壊事件（ロシアからのドイツへの天然ガスパイプライン爆破）は、米国はロシアが破壊したと言っていたが、最近米海軍の特殊部隊がやったとスクープされている。日本では報道されないが、米国は欧州がウクライナ戦争に協力しないなら経済が破壊すると恫喝をするような国である。

日本では政治的無関心と無気力が進んでいるが、これは敗戦や対米従属を隠すあり方＝事実を否定するあり方の結果である。今こそ日本人々は考えるべきである。と強く訴えられた。

膳所駅までデモ行進

集会後、参加者は、湖岸道路ートキメキ坂を通過して膳所駅までデモ行進をした。

下の写真は集会の様子。



市民デモHYOGO5・3憲法集会



戦争をさせない、9条を壊すな！5・3兵庫憲法集会が神戸・みなとみどり公園で開かれ、多くの市民（団体）、労働者（組合）が集まった。集会の前段で、カオリンズ、川口真由美さんが歌で会場を熱くした。

14時から始まった集会では、主催者を代表して羽柴弁護士がおこなった。羽柴さんは、「3年ぶりの大集会を開くことができた。私たちは、戦争を許さない、憲法9条を生かした外交を求め最後まで頑張っていく」と訴えた。

松尾貴史さんの講演

メインスピーカーの松尾貴史さんは、神戸市生まれ育ったことにふれた後「憲法は国の枠組み、もとなるものだ。そして、

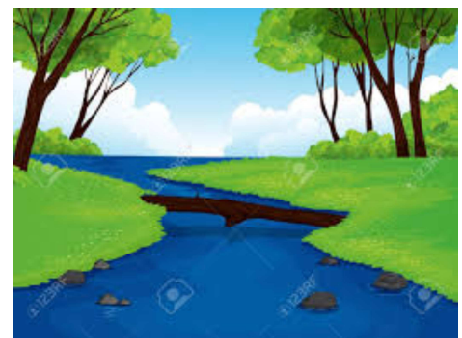
権力者を縛るものだ。戦争は一部の人が増え、多くの人に多大な被害を与え地獄を強制させるものだ。それが戦争であり、軍事



だ。武器に関してもアメリカの言いなりになっている。こういう人たちが国を任せていいのか。憲法に守られているのは国民だ、縛られているのは権力者だ。憲法改悪は問題があり、許してはならない。憲法を学習しよう。」と訴えた。憲法アピールを長富日向さん（第25代高校生平和大使）がおこない、会場の拍手で採択された。

3コースに分かれてパレード

パレードはAコース・三宮センター街コース、Bコース・元町コース、Cコース・大丸コースでおこなった。今、岸田政権の下で大軍拡がおこなわれている。私たちは「新たな戦前」に反対していきましょう。市民デモHYOGOの仲間たちは100名ぐらいが参加した。（高崎）



とめよう！岸田政権の「原発依存社会」への暴走 全老朽原発の廃炉を突破口に原発のない社会を！

「原発依存社会」に向けての反動的法案・ 「東ね法案・GX脱炭素電源法案

岸田政権が、原発関連5法案の改悪を目指して今国会に提出し、4月27日に衆議院で強行可決され、参議院に送られた「東ね法案・GX脱炭素電源法案」では、①原発運転期間は原則40年、最長でも60年とした法律を骨抜きにし、原発の60年超え運転への道を開こうとしています。しかし、世界にも、60年を超えて運転した原発はありません、最も老朽な原発でも、運転期間は53年です。

地震、火山噴火、津波の多発する日本での原発60年超え運転は、過酷事故を招きかねません。また、②原発運転期間に関する規定を、環境省所管の原子炉等規制法から削除し、経産省所管の電気事業法に移すとしています。福島原発事故の教訓の上に、原発の「利用と規制」を分離した経緯を無視し、運転期間の判断を利用側の経産省に委ねる改悪です。さらに、③原子力の憲法・原子力基本法を改悪し、原発の活用を「国の責務」と位置付けています。「原発依存社会」に向けての反動的改悪です。

しかし、岸田政権がどう願望し、法律をどう変えようとも、経済的利益や政治的思惑で原発の老朽化を防ぐ技術や安全性を高める技術が急に向上することはありません。岸田政権の「原発依存社会」への暴走を許してはなりません！

「原発依存社会」への暴走は失政の果て

そもそも、岸田政権の「原発依存社会」への暴走は、福島原発事故以降の政権が、事故の教訓を生かさず、原発維持にこだわ

り、自然エネルギーへの全面切り替えを怠った結末です。日本は、太陽光にも、水にも、風にも、地熱にも恵まれています。もし、先見の明がある政権であったなら、原発に費やされた膨大な税金や電気料金を、自然エネルギーを利用する電源、大容量の蓄電法、省エネ機器の開発と普及に回し、今頃、核燃料、化石燃料など必要のない社会を実現し、世界をリードしていたでしょう。

岸田首相は、このことを反省し、脱原発社会をめざすべきですが、それができないのは、岸田政権が「原子力ムラ」や原発推進で莫大な利益を上げる大企業の代弁者であるからです。



関西電力高浜原子力発電所

**現在科学技術で制御できない原発
運転する関電では、原発トラブル、不祥事、
約 束 違 反 が 続 発**

一方、岸田政権の尖兵・関電は、老朽原発・高浜1、2号機の6、7月再稼働を画策していましたが、火災対策不十分により、再稼働は延期すると先月末発表しています。再稼働を目指して、10年以上も準備してきたにも拘らず、再稼働直前になっての不備の発覚です。自覚が足りないのか、検査・

点検の仕方が杜撰なのか？ 今回の不備は氷山の一角かもしれません。

その関電は反省することもなく、4月25日、運転開始後38年、37年になり、MOX 燃料を使用し、高温・高圧水が流れる一次冷却系などにトラブルが続出している高浜3、4号機の20年運転延長まで原子力規制委員会に申請しています。

周知のように、関電は、原発トラブル、不祥事、約束違反を多発させています。現在科学技術で制御できない原発を無理矢理稼働させようとするから、人々を欺かなければならなくなり、そこに闇の部分（不備、トラブル、事故、不祥事、約束違反など）が発生するのです。

今こそ、目に見える行動の大爆発を！

「老朽原発うごかすな！実行委員会」は、新型コロナウイルスによって制限されてきた「老朽原発うごかすな！」の行動を起死回生させる大集会（1万人の大結集を目指す）を12月3日（日）に大阪で開催することを決定しました。「東ね法案」が成立しても、実行させない闘いを前進させましょう！皆様のご賛同、ご支援、ご参加をお願いします。

老朽原発うごかすな！実行委員会
木原壮林（若狭の原発を考える会）

高浜全国集会が320名の結集で成功！



4月29日、「関電よ 老朽原発うごかすな！高浜全国集会」が高浜町文化会館でおこなわれ、320人が参加した。

集会にさきがけて前段行動として、音海展望台から高浜原発北ゲート前までデモ行進をして、抗議行動と申し入れをおこなった。京都や大阪から大型バスで駆けつけた仲間を中心

におこなった。

本集会には、北は青森、東京から四国まで、全国から駆けつけた仲間が参加した。福井や名古屋からもバスで参加されていた。

寄せられたメッセージで、井戸弁護士は、「天災は忘れたところにやってくると言うが、人災は騙されたところにやってくる。騙されずに押し返そう！」と述べられた。参加者はこのことを心にとどめ、集会後、高浜町内をデモ行進した。

写真は、北ゲート前での抗議行動（上）と、本集会（右）の様子。



美浜3号機の再稼働に抗議

5月20日、関西電力は老朽原発美浜3号機の再稼働に向けて、核燃料を装填する作業を始めた。これに抗議して、この日京都からのマイクロバス1台をはじめ、大阪、滋賀、福井現地等を合わせて50名が美浜現地に駆けつけて抗議行動をおこなった。

最初に美浜町役場前で、老朽原発の再稼働に合意した美浜町に抗議行動をおこなっ



美浜駅まで、美浜町内をデモ行進して、次に関西電力原子力事業本部前で抗議行動をした。

木原さんや中寫哲演さん等代表が申し入れ書を手渡した。その後美浜原発の近くに移動して、美浜原発周辺をデモ行進して、美浜原発そのものへの抗議をおこなった。雨のなかだったが、参加者は「40年をはるかに越える約束破りの老朽原発の再稼働を許してはならない」と意気高く終日抗議の声をあげ続けた。再稼働は6月下旬と言われている。

た。事故が起これば被害は美浜町だけでない、関西圏はじめ大きな被害をもたらすことに責任が取れるのかと追及した。その後

写真は美浜町役場前の抗議行動（上）と、関電原子力事業本部前での抗議行動（左）。

ケアワーカーズユニオン山紀会支部、勝利報告

この度、社会医療法人山紀会による組合員3名に対するスラップ訴訟、スラップ訴訟が不当労働行為であるという取消訴訟の全てが取消となり、組合側の全面的な勝利和解となりました。報告メールに対して、たくさんの激励の言葉を頂き、本当にありがとうございます！！

裁判自体は終結しましたが、現在も府労委(命令待ち)・中労委の係争(現在調査中)は続いています。また、職場内での団交を定期的に行っています。長年の裁判や組合潰し、コロナ下の激務も重なり現場職員(組合員)が職場を去ったりして、事業の一部閉鎖などもありました。本当に苦しい状況ではありますが、なんとか団結して乗り越えようとしています。今後ともご支援よろしくお願いいたします！

いつもご支援ありがとうございます。ケアワーカーズユニオン山紀会支部です。



3・24 春季総行動山紀会前

一井不二夫さん講演会

3月18日、戦争をさせない1000人委員会・しが主催の第20回連続市民講座が、ラテンアメリカ政治経済研究会の一井不二夫さんを講師に、「いまラテンアメリカが熱い～史上初めて主要経済国のすべてが左派政権に～」と題して、滋賀県教育会館であり、25名が参加した。一井さんは、ラテンアメリカの経済、歴史、最近の政治状況等を全面的に分かりやすく90分フルに語られた。

日本は非鉄金属の43%をラテンアメリカから輸入しているが、ベースメタルもレアメタルもラテンアメリカは主要な産出国であり、電気自動車等で今後重要になるリチウムは埋蔵量の半分以上を持っている。また貿易の最大相手国はアメリカではなく中国である。

元々、アステカ、マヤ、インカ等高度な文明を持っていたが1492年以降、スペイン・ポルトガルにより植民地化される。コルエスのアステカ王国征服（1521）、ピサロのインカ帝国征服（1533）、エンコミエンダ（大土地所有と先住民の奴隷化）、アシエンダ（大農園）、アフリカからの奴隷の導入（1570）と解放（19世紀）、プランテーションとモノカルチャーという中で、強力な階級支配がつけられた。1820年代に独立していくが、大企業がアメリカとつながり、

アメリカがラテンアメリカに介入する。多国籍企業と支配階級の一体化で新植民地主義の時代になる。アメリカは米州機構（OEA）を使った介入や米州士官学校による各国軍部とつながり、大使館を通じた諜報活動やクーデターをおこなう。そうした中で、1959年のキューバ革命が起きる。経済成長と安定、民主的政府、識字率、富の分配と土地改革がおこなわれ、各国にゲリラ活動がおこなわれる（1960年代～）。1970年代～に軍政の時代になり、米国の介入と軍事クーデターがおきる。1980年代～新自由主義政策の時代になり、貧困率・貧困格差が激しくなる。新自由主義政策に対する抗議行動が大きくなるなかで、2000年代に左派政権が成立していく。ベネズエラのチャベス、ブラジルのルラ等々。貧困格差の是正や、ラテンアメリカの統合の進展等が起きるが、経済が悪化する中で、2010年代に右派政権が復活する。ブラジルのボルソナロ等。しかし今2020年代に第2のピンク・タイドと言われる左派政権の波が起こっている。チリでは、2011年の学生運動の時に全学連の委員長だったボリチが36歳で大統領になった。コロンビアでは左翼ゲリラの闘士だったペトロが大統領になった。ウルグアイのムヒカも有名だが、日本赤軍のような闘いを1980年代にやっていた人が選挙で大統領になるのは、軍事政権の弾圧やそれを操るアメリカに対する怒りが、日本とは違うということだ。

今もラテンアメリカではデモの先頭に、ゲバラやシモン・ボリバルの写真があるのは、汎ラテンアメリカの意識が高いからで、これからの世界経済はグローバルサウスというか、ラテンアメリカが大きな力になることは間違いない。一井さんの話を聞いて、日本はいつまでアメリカべったりで行くのか、世界の流れから離れていくのが実感できた。



いのちのとりで裁判・人らしく生きる権利を

4月14日、大阪高裁第1民事部の山田明裁判長は、1審の大阪地裁判決を全面否定する判決を出した。裁判長の判決理由の読み上げが終わると傍聴席から「不当判決！」という大きな声が上がった。この間、生活保護基準引き下げ違憲訴訟は原告の勝訴判決が続いていたが、その勢いを断ち切ろうとするものだ。

争点から逃げまくる

本件の最大の争点のひとつは引き下げの国の計算が妥当かどうかである。原告勝訴の判決を出した大阪地裁、東京地裁など全国9つの各地裁はこの点に具体的にふみこみ、国の引き下げは違法と断じたのだ。しかし、大阪高裁はこの最大の争点にふみこまず、判断を避け、原告を敗訴させるために国の主張を丸のみしたのだ。

受給者は我慢しろ

山田裁判長は保護基準の引き下げによる原告の苦痛は理解できるが、しかし、その苦痛は「リーマンショック後の経済状況の悪化の中で」「国民の多くが感じた苦痛と同質のもの」とであると言う。つまり、みんな

な苦痛を受けているのだから生活保護受給者は文句を言わず我慢しろというのである。

千葉地裁で勝訴

このような逆流の中千葉地裁は5月26日、原告勝訴の判決を出した。闘いはこれからだ。



国策との闘い

保護基準引き下げは第二次安倍政権以来の国策である。資本家階級と国家権力は憲法25条の「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を破壊し返す刀で労働者へのさらなる賃下げや労働条件の破壊をやろうとしているのだ。なんとしても打ち破ろう。

教宣部よりお詫びと訂正

前号の「拓」129号の記述の中に大変失礼な誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。2ページ目最上段の中見出し、本文1行目、最下段の写真下の説明分の3ヶ所において、ひょうごユニオン岡崎進委員長のお名前を「岡本」と誤記してしまいました。

関西合同労働組合の2023年「新年旗開き・春闘討論集会」にお越しいただき、「ユニオンの過去・現在、そして未来は」と題した講演をして下さった岡崎委員長、ひょうごユニオンの組合員のみなさんにご迷惑をおかけしましたことを謝罪いたします。

今後、このような重大なミスを犯すことのないよう、原稿のチェックを徹底します。これからも関西合同労働組合機関紙「拓」をよろしく願いいたします。

2023年6月1日 執行委員長 佐々木伸良

コラム 〈め（眼）メ（芽）〉⑬ 漫画「はだしのゲン」 が消されていいのか？

■ 漫画「はだしのゲン」（1973年6月4日～週刊少年ジャンプ連載開始、今年で50年）は多くの人を知り、読んだ経験があるだろう。漫画家の故中沢啓治さんが6歳で被爆し、父と姉、弟、妹を失った体験に基づく作品。被爆とその地ヒロシマの惨状とともに、家族を亡くしたゲンがたくましく生き抜こうとする姿を描いた。その後学校や図書館にもおかれ、平和教材として使われた。24カ国語翻訳され世界で読まれた。私はロングセラーになってから立ち読みや図書館で読んだ思い出がある。全編は読んでない。ゲンの校門での被爆の場面、駆けつけた自宅で家族が死んでいく場面が衝撃だった。また、竹やり教練を「なんの役にも立たん」と言う父が「非国民」と憲兵に取締られるところが今でも印象に残る。

■ その「はだしのゲン」がヒロシマでこの2月に広島市教委作成「ひろしま平和ノート」から削除された。

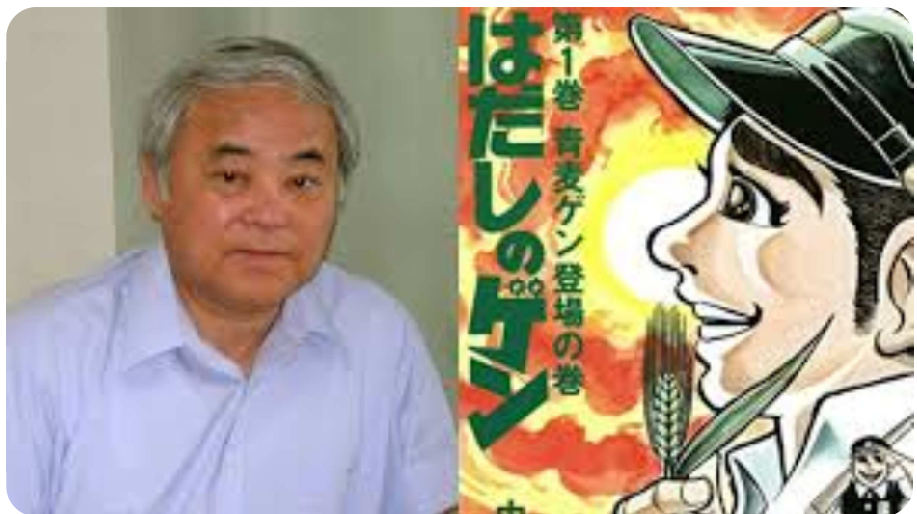
「私は被爆者ながら、ゲンから生き方を学んだ。削除決定は我慢ならない」。生後9カ月で被爆した広島県原爆被害者団体協議会の佐久間邦彦理事長（78）の声を、歌手加藤登紀子など多くの抗議の声を無視して強行された。それが広島サミットまえ3ヶ月前のことである。世界はこの削除をどう思うだろう。専

守防衛もすて「はだしのゲン」も消す日本は「軍事国家」になろうとしていると見るだろう。

この危険な事態を日本の民衆のほうが見えてない一実には戦争に突入していく戦前もそうだった。

■ 5月広島サミットでの首脳達の平和公園・資料館訪問イベントに被爆者たちが「ヒロシマで投下した米国、戦勝国の謝罪もなく、核抑止を正当化した」「核兵器禁止を語らなかったのは許されない」と激しい声をあげた。報道もされたが、しかし議長だった岸田首相のコメントはなかった。マスコミの批判も弱くサミット賛歌一色だった。おかしな方向に日本が進んで行こうとしていると強い憤りを感じている。闘いの声が弱いのに危機感をもつ。

■ そのあと5月24日から朝日新聞で「わたしもゲンだった」連載が3回掲載された。見てない人は是非見て欲しい連載だ。特に一回目。「火葬場の怒り ゲンを生んだ」は必読と思う。だ。6歳の中沢さんが被爆のあと共に必死で生きた母が無くなった。その遺体は火葬で残ったのは「3～4センチの小さな破片と灰」だけだった。そこからあの漫画執筆が決心され、「戦争と原爆の責任を徹底的に追求してやる。漫画の中で徹底的に闘ってやる！！」（自著「はだしのゲン わたしの遺書」）と連載



がはじまった。

■消されてはいけない！戦争の記憶と記録をこどもたちに

中沢さんの妻ミサヨさん（80）は「教材への掲載が決まると本人はとても喜んでいった。子どもたちに原爆の怖さや悲惨さをどうやって伝えようかと考えて描いた作品なのに」と削除を悔しがった。

中沢は常に「真珠湾（真珠湾攻撃）を忘れるな」と原爆投下を正当化するアメリカに対して戦争と核兵器の恐ろしさを知って欲しいと訴えていた。火垂るの墓と映画「仁義なき戦い」も消され一大軍拡のラッパを

鳴らしていけない。。戦争が当たり前にされるとき人間が人間でなくなる、民衆が死んでいくその現実を教えるー「はだしのゲン」をもう一度読もう広めよう、伝えよう。削除報道後2月「中公文庫」版が通常の10倍になったという。電子版も売れている。「山守さん！弾はまだ残っとるがよお」、菅原文太の名台詞がここに染みる。

宮崎庸人

5月28日

松田妙子さんの随筆を読んで

組合の機関誌『拓』の漫画で、お世話になった松田妙子さんが急逝され、回顧展『Matsuda Taeko World』が開かれ参加してきた。会場で買ったエッセイ集『いつか真珠の輝き』（約100頁）を読み終えて正直驚いてしまった。

松田さんは、8才の時に性暴力を受け、心身に深い傷を負い、「摂食障害」を発症したという。その松田さんのエッセイが、糾弾したり、重くて苦しい突きさすようなものではなく、非常に落ち着いて読む者に、静かに語りかけてくる穏やかさに意表を突かれた。

「あこや貝が、体内に入り込んだ異物が自分の身を傷つけるのを防ぐため、真珠質の物質で包み込んで、長い年月の間に輝く珠を作るように、私は私の心を傷つける「異物」を長い時間をかけていくつもの真珠に変えてきた」と。

「真珠の輝き」が、身や心を傷つける「異物」を葛藤や苦しい心情・思想との格闘の末に「昇華」（簡単に言っているものやら）し、「包み込んで輝ける珠」にしてきた結果だという。そういう「輝き」を追求してきた人だとを知って、唸ってしまった。

また、「気づきの築き」の章では、「『嫌いな人』や『納得できないこと』は、私に何かを気づかせるために、私の前に立ち現れるのだと思う。それによって、学び成長させていただくのですから、全てのものに私は感謝せねばならない。」と。どこからこのような力が湧いてくるのだろうか。このような境地に私はとてもなれない。葛藤や憤怒と焦燥のなかで、もがいている自分を、「ちょっとあんた待ちなさい。あこや貝に学びなさい。」と松田さんが言っているような気がする。



23年4月8～9日 Matsuda Taeko World

当面のスケジュール

6月4日（日）
講演集会「辺野古から見た沖縄の軍事要塞化」
10時 神戸市中央区文化センター
13時 デモ

6月5日（月）
第10回本部執行委員会
18時 西宮市立勤労会館

6月6日（火）
大阪広域協抗議行動
13時 東横堀川公園

6月6日（火）
JAL争議全国統一行動
17時30分 JR元町駅東口南側

6月8日（木）
ハナマダンあまがさき第1回実行委員会
韓統連兵庫事務所

6月11日（日）
部落解放同盟全国連合会第32回定期大会
13時 大東市民会館（キラリエホール）

6月16日（金）
大豊運輸倉庫分会裁判第4回口頭弁論
10時 大阪地裁岸和田支部

7月3日（月）
ドキュメンタリー映画『金福童』上映会
15時 こうべまちづくり会館

7月9日（日）
老朽原発動かすな！集会とデモ
13時30分（神戸婦人会館）

7月23日（日）
関西合同労働組合第30回定期大会
13時30分 西宮市立勤労会館



松田妙子さんの漫画

編集後記

▼今年6月23～25日にかけて、「慰霊の日」に合わせて3年ぶりに沖縄に行ってきます。今回は初めて宮古島にも行きます。台湾有事をことさらに叫び、軍事要塞化されようとしている南西諸島。その現状をしっかりと見てきたいと思います。第30回定期大会

で組合員のみなさんに報告したいと考えています。

▼そろそろ雨の季節ですね。ジメジメして何かと気分もあまりよろしくありませんが大会の成功に向け頑張りますのでご協力を。

▼阪神タイガースが好調です。他球団のファンの方には申し訳ありませんが、最近嬉しいことがあまりない私にとっては嬉しい限りです。優勝目指して頑張れ！ (S)